

ナイコトニナリ、直ぐ斷定的ノ理説ニ引キツケラレルノデアリマス
 コノ傾向ハ學生ノ嗜む趣味ニ限ラズ、此ノ頃ノプロレタリア文化聯
 盟ガ無産者藝術等ヲ通ジテ若人ノ好奇心ヲ以テ見タガル映畫、美術
 音楽、演劇等ニヨク此ノ邊ノ機微ヲ捉ヘテ青年學生ニ呼ビカケ宣傳
 ワシテ居ルカラデアリマシテ、コノ事ニハ相當ノ注意ヲ拂フノ要ガ
 アルト信ジマス。

第四、結 語

有爲ナ前途ヲ持ツ青年學徒ガフトシタコトカラ左傾思想ニ趣味ヲ
 持チ、遂ニハ共產黨ニ提ハレ刑辟ニ觸レルコトハ洵ニ遺憾ナ事デア
 リ、一重左傾思想ニ感染サレテ思想上ノ變化ヲ來シ、學業ニ眞剣ヲ
 缺キ、青年立身ノ第一歩ヲ誤ル事トナルト一身一家ハ勿論國家ノ爲
 ニ大ナル損失ト云ハナケレバナリマセン。學生ノ思想運動ナルモノ
 ハ極メテ憐レムベキ點メガアリマシテ、只ダ一片ノ理論ニ迷ツテ適
 激ナル運動ニ拂ハルコトニナルモノデアリマス。感傷的デアル彼等

ハ、現代ノ社會組織ノ短所ノミヲ見テ長所ヲ見ズ、マシテ我國ニ生
 ワ享ケナガラ金匱無缺コノ國柄ヲモ有リ難イトモ考ヘズ、革命ノ理
 論ニ心酔シテ其後ノ學ハドウナルカモ考ヘナイ。社會ノ良クナイ事
 ノミガ目ニ付キ、如何ニ社會ヲ進ンデ行クカモ知ラナイノデアリマ
 ス。ソレ故彼等ニハ、世界各國ノ特殊ナル發展ノ道程ト現在ニ於ケ
 ル民族盛衰ノ歴史ト、我國ノ世界ニ於ケル特殊ナル地位トヲ十分ニ
 理解セシムル事ハ大切ナコトデ、國體擁護ノ思想ヲ涵養シ、同時ニ
 東洋獨特ノ家族制度殊ニ忠孝ト云フ諄風美俗ヲ眞剣ニ訓育スルノ要
 ガアルト思ヒマス。又共產黨事件ニ連坐シタ者ガ後悔シタ告白ニヨ
 ルモ家庭ニ於ケル感化力ガ非常ニ明瞭ニ現ハレテキマス。

竊テ私共敎護ノ任ニアルモノハ現下ノ油斷ナラヌ思想ノ傾向ニ直
 面シテ學校ナリ家庭ナリノ校外ニ於ケルヨリヨキ味方トナリ、忠告
 者トナリ、常ニ親兄弟以上ノ指導愛護者タル者ト自任シテ左傾思想
 ノ學生ニ及ブ環境ヲ整理シ、學生ノ誘惑惡化ヲ防止スル覺悟ガ大切